

## 令和7年度 保育所の保育 自己チェックリスト評価結果

令和7年7月

～グループでの話し合いを終えて感じたこと、振り返り～

### 〈個人評価〉

評価・興味を引き出しながら、子どもの今の姿に合った環境づくりをしている。

- ・自分の思いや意見を出したり、自分なりの保育をしていこうとやっているところである。
- ・補助の立場として、ゆとりをもって落ち着いて子ども達の様子を見ることができた。一人ひとりに合わせた声掛けを意識できた。
- ・保護者との連携を密にし、保護者の不安軽減に努めた。

課題・安全第一で、「あれもダメ これもダメ」と保育士の思いが先になってしまいがち。子どもの「やりたい」や可能性を引き出していきたい。

- ・これまで使っていた紙のチェック表には、指針の文章などが載っていたので、まずそれを読むことができた。そのため「なんとなく分かる」気になっていたが、実際は頭に入っていたことを思い知った。指針を読み直していく必要があると感じた。
- ・3ヶ月間、1日を通して決まったクラスに入ることがなかったので、子どもの思いや担任の意向を理解したり、関係を作るのが難しかった。
- ・噛みつきなどは具体的に伝えていくことで、今の子どもの発達過程であることへの理解に繋がるのかなと考える。
- ・上司や専門の先生（給食など）との連携の必要性を感じた。
- ・気になる子への声掛けが合っているのか、響いていないと感じることもあった。

改善・子どもの思いを受けとめて、子ども主体の保育をしていきたい。

- ・今の子どもの姿を見て計画を立てたり、遊びを広げたりしていきたい。
- ・担任と情報共有をより意識し、一緒に考え、補助としてできる支援の幅を広げられるようにする。
- ・保護者との信頼関係を深め、引き続き丁寧な対応を心掛ける。
- ・子どもの健康、安全、発達等を理解したり、担任の意図や計画を理解し、子どもと適切にかかわる。気持ちが動くのを待てる保育を心掛ける。

### 〈クラス運営評価〉

評価・二人担任なので常に話し合える状態で、コミュニケーションをとりながら保育ができている。

- ・子どもの声や「やりたい」という気持ちを丁寧に受け止めて、一緒に考えたり準備したりするなどして、遊びを広げていけるように努めている。
- ・子どもの姿に合わせて環境構成を工夫したり、個々に合わせた対応をしていくように努めた。

課題・噛みつきがあるので、環境を見直したり、話し合ったりしていく。

- ・今の子どもの姿に合った環境にしていきたい。  
⇒環境づくりをするための時間を確保できるようにする。
- ・子ども同士のトラブルには慌てず落ち着いて、両者の思いを汲みとるなど対応していく。
- ・子どもの援助方法など、連携を図っていく。
- ・保護者支援、対応は難しさを感じている。困っていることを知つてもらおうとしてしまいかつたが、小さなことでも頑張っているところや良いところも伝えていきたい。

## 〈園全体〉

- 評価・職員の環境が少し変わったことで、思っていることなど少しずつ言い合える環境になってきている。
- ・園長先生、主任の先生が給食を見に来てくれたり、一緒に食べてくれたりして、気になる子の実際の表れを共有することができ、相談がしやすくなり、担任の不安や悩みが少し軽減している。食事配膳や水遊び後の入室時など、保育士間の連携を図り助け合うことができている。
  - ・ホールや倉庫を協力して使いやすいように整えることができた。

課題・時間にも心にもゆとりがないためか、職員間でのコミュニケーションがなかなかとれていない。

- ・乳児 幼児とのかかわりがない。
- ・保育環境の見直しなど、クラス 乳児 幼児にとどまってしまっているので、園全体で統一した見直しが必要ではないか。
- ・個のこと、噛みつきのことなど悩みを言い合ったり話し合ったりできる機会があるといい。
- ・必要とされているクラスに必要な保育ができているか自信がない。
- ・園内の決定事項などを知る時期が遅くなっている。(所属クラスが曖昧ということもあり) 早く情報を得られるように努めたい。

改善・クラス、正規だけなどに限定せず、園全体で話し合えば多角的な気付きがあり、より良い保育環境になっていくのではないか。立場に関わらず意見を出し合える雰囲気づくりも大切ではないか。

- ・乳児も七夕の集いに参加し、久しぶりに全体で集まった。交流し、かかわっていくことは保育士にも子どもにも良い経験。交流していくと自然とコミュニケーションがとれていくのでは。
- ・子どもの健康、安全、発達などを理解して適切にかかわれるよう研修等の機会をもちたい。